

少年剣士熱戦 志道館3連覇

可児で剣道バロー杯

剣道の第3回バロー杯争奪少年大会が11日、可児市大森奥洞の武道場「漱玉館」で行われた。小中学生で編成した県内の10チームが団体戦で熱戦を繰り広げ、志



熱戦を繰り広げる選手ら＝可児市大森奥洞、漱玉館

道館学園(大垣市)が3連覇を果たした。

バローホールディングス(HD)が主催。競技人口が減少する中、少年剣道の隆盛を目的に2024年から始まった。大会長を務めるバローHDの田代正美会長兼CEOは開会式で「皆さんの中から世界で戦える剣士が出てくることを願っている」と激励した。

試合は7人制の混成団体戦。先鋒と次鋒を小学1、4年生、五将、中堅、三将を小学5、6年生、副将、大将を中学生が務め、予選リーグと決勝トーナメントで競った。選手らは、気合を込めた声を上げながら熱戦を繰り広げた。

準優勝はさくら会少年剣道部(加茂郡八百津町)で、3位は各務野錬成館(各務原市)、岐阜中警察署剣道少年団(岐阜市)だった。上位4チームは8月上旬にバローHDが同館で開催する東海大会に出場する。

(田中純太郎)